

令和4年度小学校理科

問題番号	問題の概要	課題のある内容	学習指導要領の区分・領域	対策例の概要（報告書等より）	関連する問題	参考	教科書	学年	時期	関連する主な単元
1(5)	育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ。	観察等で得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつ。	B区分 「生命」を柱とする領域	観察、実験等の結果について、自分や他者の気付きを基に分析して、解釈し、問題を見いだすことができるようにするためには、それぞれの気付きを明確にし、差異点や共通点を基に自分の考えをもつことができるように指導する。その際、問題を解決した後、他の学習や生活経験と比較しながら、新たな問題を見いだすような学習場面を設定することが大切である。		<ul style="list-style-type: none"> ・R4報告書 P20～34 ・富山県特徴的な問題 P15(5月配布) 	東京書籍	3年	5月 6月 9月	チョウを育てよう トンボやバッタを育てよう こん虫を調べよう
							学校図書	3年	6月 9月	チョウを育てよう こん虫を調べよう
2(3)	水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見いだし、問題に対するまとめを選ぶ。	自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつ。	A区分 「粒子」を柱とする領域	観察、実験の結果を基にして、予想について検討して、改善し、より妥当な考えをつくりだすことができるようにするためには、観察、実験の結果が出た後に、予想と結果について、それらの整合性を調べ、自分の考えをより科学的なものに変容させることができるように指導する。その際、実験で得られた結果を予想と照らし合わせ考察について検討して、改善し、より妥当な考えをつくりだす場面を設定することが大切である。 ※授業アイデア例 P26 参照	H30 3(3) H27 3(3) H24 1(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・R4報告書 P35～47 ・富山県特徴的な問題 P13(5月配布) ・H30報告書 P42～53 ・H30授業アイデア例 P17～18 ・H27報告書 P46～60 ・H24報告書 P270～289 ・H24授業アイデア例 P13～14 	東京書籍	4年 5年	1月 11月	水のすがたと温度物のとけ方
							学校図書	4年 5年	10月 1月	水の3つのすがたものとのけ方
2(4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く。	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する。	A区分 「粒子」を柱とする領域	自然の事物・現象に働きかけて得た事実について、自分や他者の気付きを基に分析して、解釈し、問題を見いだすことができるようにするためには、事実を比較し、差異点や共通点を捉えることができるように指導する。その際、自然の事物・現象に働きかけて得た事実について話し合う中で、自分や他者の気付きを捉え、主に差異点や共通点を基に問題を見いだす場面を設定することが大切である。 ※課題のみられた問題 P8 参照		<ul style="list-style-type: none"> ・R4報告書 P35～47 	東京書籍	4年 5年	1月 11月	水のすがたと温度物のとけ方
							学校図書	4年 5年	10月 1月	水の3つのすがたものとのけ方
3(1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ。	日光は直進することを理解する。	A区分 「エネルギー」を柱とする領域	知識をより深く理解できるようにするためには、主体的な問題解決を通して知識を習得できるようにすることや、習得した知識を実際の自然の事物・現象と関連付けて説明できるように指導する。 ※課題のみられた問題 P9 参照		<ul style="list-style-type: none"> ・R4報告書 P48～59 	東京書籍	3年	10月	太陽の光を調べよう
							学校図書	3年	10月	光を調べよう
3(4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く。	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する。	A区分 「エネルギー」を柱とする領域	観察、実験等で得た結果について分析して、解釈し、より妥当な考えをつくりだすことができるようにするためには、結果を事実として分析して、解釈し、それを結論の根拠として表現できるように指導する。その際、結果の具体的な数値や、それを分析した内容等を根拠として表現する場面を設定することが大切である。結果を基に結論の根拠を記述することが難しい場合には、結論の根拠の記述例を示し、適切なものを選ぶことができるように指導する。 ※課題のみられた問題 P7 参照 ※授業アイデア例 P28 参照	H30 2(3) H27 1(3) H27 3(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・R4報告書 P48～59 ・H30報告書 P30～41 ・H30授業アイデア例 P15～16 ・H27報告書 P22～35 P46～60 ・H27授業アイデア例 P21～22 	東京書籍	3年	10月	太陽の光を調べよう
							学校図書	3年	10月	光を調べよう
4(2)	夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ。	予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつ。	B区分 「地球」を柱とする領域	問題を解決するまでの道筋を構想し、解決の方法を発想できるようにするためには、予想や仮説を基に解決の方法を発想する際に、結果を見通すことができるように指導する。問題に対して根拠のある予想や仮説を発想し、自分の考えだけではなく他者の予想も捉え、予想が確かめられた場合に得られる実験の結果を見通して、解決の方法を発想し、観察、実験等を行う場面を設定することが大切である。 ※授業アイデア例 P30 参照	H30 2(2) H30 3(2) H27 3(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・R4報告書 P60～73 ・H30報告書 P30～41 P42～53 ・H30授業アイデア例 P17～18 ・H27報告書 P46～60 ・H27授業アイデア例 P19～20 	東京書籍	4年	5月	天気と気温
							学校図書	4年	5月	1日の気温と天気